

**単元名 2 視野を広げて ―漢字に親しもう2**
**配当時間 1時間**

**単元の目標** (1) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体の読み、また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。  
(3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

**標準的な展開例**

12210111\_001

**【準備等】** 国語辞典、漢和辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 問題に取り組み、新出漢字に使い慣れる。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 新出漢字に使い慣れよう。 ○ 問題に取り組む。	・ 言葉の意味を辞書で確認しながら、漢字を読んだり書いたりする。 ・ 漢字の音訓、熟語、部首、送り仮名、類義語 ・ 多義語などに注意させる。 <b>【評】</b> 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

**【 備 考 】**

論説的な文章では、筆者の主張（抽象）に対して、複数の事例や根拠（具体）を挙げて解説している。文章における、具体と抽象の関係を捉え、筆者の論理の展開を評価しながら、筆者の主張を読み取り、人間や社会に対する考えを広げたり、深めたりさせたい。

また、スピーチの学習では、人々の価値観や行動に影響を与え、社会を変える力をもつスピーチの力を実感するとともに、社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成や発表の仕方を工夫することで、様々なことに問題意識をもち、社会に視野を広げさせたい。